

**ENGLISH TRANSLATION**  
**Using**  
**Basic English Formulas**

公式で作る英語表現

BY

MITSUSHIGE KANEKO AND RICHARD H. SIMPSON

NAN'UN-DO

Copyright© 2017

by  
Mitsushige Kaneko  
Richard H. Simpson

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission  
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

## 本書の目的

英語を話したり書いたりするとき、日本語を英語の決まりにしたがって英語に置き換えるという手順を踏みます。

この手順では、本書に紹介したような基本的英文をしっかりと身につけておく必要があります。しかも、基本的英文を組み合わせて応用することで、自然な英語が話せたり書けたりするようになります。

この作業手順を瞬時にこなって口から出すのが話す英語で、必要な時間をかけて手から出すのが英文でかく書きことばです。

ですから、話す力といえども、英作文と密接な関係があります。英作文の力なしには話す英語も成立しない。

話しことばであれ、書きことばであれ、英語で発信するには、和文和訳が必要です。日本語をそのまま逐語訳するのではなく、日本語の趣旨を踏まえた分かり易い別の日本語表現に変換する。これが和文和訳です。

たとえば、「万物は流転する」と英語で言いたければ、その趣旨をくんで「すべてのものは移り変わる」とか「あらゆるものは変化する」と和文和訳します。そして誰にも分かる平易な英語に置き換えます。すると、Everything changes. という英語が生まれます。

基本的英文を身につけるための意図的・意識的な学習努力は、やはり必要です。そうしてこの一冊を仕上げれば、話す英語や書く英語は、もうあなたのものです。

## 本書の使用法

まず、見開き右頁上の公式を用いて、[問い] を解いてみます。公式については、[解答例] の説明を参照してください。

[問い] を解いたら [解答例] と照合して表現を修正し、修正した例文を暗唱できるまで、口や手を使って反復練習します。

公式①②③の番号は、以下、[Challenge A]、[Challenge B] および [Applied Questions] の番号 1) 2) 3) に対応しています。

[Challenge A] は、公式の確認と公式が実際にどのように使われているか、英文をたしかめておくためのものです。

[Challenge B] は、できれば英語を見ずに解いてほしいのですが、容易ではないなら、与えられた英語を並べ換えて表現を完成してみましよう。

[Applied Questions] は、見開き 2 頁中で最も骨のある応用問題です。解いて力だめしをしてみましよう。辞書を使って解いても大いにけっこうです。

以上の作業は、授業に出る前に予習として必ずやっておくと半年から一年後に格段の進歩が期待できます。

なぜなら、英語力は投入した時間に正比例するからです。投入した時間は、英語に関する限り、あなたを裏切ることはありません。Practice makes perfect.

## Contents

主語選択編 1.	～してから...年になる	6	構文選択編 1.	～してはいかがですか / ～しましょうか	50
主語選択編 2.	～とは驚きです (驚きます)	8	構文選択編 2.	～すれば必ず...する	52
主語選択編 3.	どんなに～でも	10	構文選択編 3.	～すればするほど	54
主語選択編 4.	～といっても過言ではない	12	構文選択編 4.	～するやいなや (するとすぐに)...	56
主語選択編 5.	～ほど...なものはない	14	構文選択編 5.	...せよ、そうすれば / さもないと	58
主語選択編 6.	～とは残念だ (残念ながら、～だ)	16	構文選択編 6.	たいへん / (非常に) ～なので...だ	60
主語選択編 7.	～する必要がある	18	構文選択編 7.	たとえ (いくら) ～だとしても	62
主語選択編 8.	A も B も～である	20	構文選択編 8.	～だと思ふ	64
主語選択編 9.	...するのに～かかる	22	構文選択編 9.	まるで～のように / と同様に	66
主語選択編 10.	～するのはむだだ	24	構文選択編 10.	～は...と同じ	68
主語選択編 11.	～こそ...である	26	構文選択編 11.	もし (万一) ～ならば	70
主語選択編 12.	～は当然である	28	構文選択編 12.	もし～がなければ (ないとしたら)	72
			構文選択編 13.	～なので / ～だから	74
動詞選択編 1.	必ず～する	30	語句選択編 1.	いわば / いわゆる	76
動詞選択編 2.	～しがちである	32	語句選択編 2.	実をいうと (実は) / 率直に言って	78
動詞選択編 3.	～したい	34	語句選択編 3.	すべてが～とは限らない [部分否定]	80
動詞選択編 4.	～したほうがよい	36	語句選択編 4.	～どころか	82
動詞選択編 5.	～するつもりである	38	語句選択編 5.	～にもかかわらず	84
動詞選択編 6.	～することになっている (習慣・癖)	40	語句選択編 6.	～年 (日 / 週) ぶりに / 久しぶりに	86
動詞選択編 7.	～せざるをえない	42	語句選択編 7.	～のために (目的)	88
動詞選択編 8.	～のように見える (～のようだ)	44	語句選択編 8.	～のために (原因・理由)	90
動詞選択編 9.	よく～したものだ	46	語句選択編 9.	初めて / はじめは	92
動詞選択編 10.	～に...させる	48	語句選択編 10.	まったく～ない [全部否定]	94

## 主語選択編

# 1. ～してから...年になる

**【問い】** 右頁の公式を活用して、次の日本語を英語で表現してください。

- ① 父がたばこをやめて10年が経ちます。(Ten years を主語にして)
- ② 東京に出て来て (come up) 2年になります。(It is で始めて)
- ③ 大阪で駅員 (station worker) をして5年になります。(I have been で始めて)

### 【解説】

公式①は、「年数」が主語となり、述部は現在完了時制で表現します。だが、その後続く since 以下は、必ず過去時制になりますので、この点は要注意。

公式②は、「時間を表す it」を主語とし、it を受ける動詞は is でも has been でもかまいません。なお、since 以下は必ず過去時制になる点は公式①と同じです。

公式③は、人称や人称代名詞が主語になり、述部は完了時制になります。また、年数や期間を表す for ... years の部分は、over the last two years や for the last two years のほか、特に口語では、for なしで these two years と表現します。

そこでたとえば、「当地に来てまだ1ヵ月です」を公式①②③を使ってそれぞれに表現しますと、こうなります。

- ① Only a month has passed since I came here.
- ② It is (/has been) only a month since I came here.
- ③ I have only been here for a month.

**【Challenge A】** ( )内に英語1語を入れてください。

1-3

- 1) 小学校を卒業してから7年になります。  
Seven years ( ) passed since I finished primary school.
- 2) 学校で英語を勉強なされたのはかなり前ですね。  
It's been quite a while ( ) you studied English at school.
- 3) わが社はここ京都で商売を始めて今月で18年を迎えます。  
We have been in business here in Kyoto ( ) eighteen years this month.

- 公式**→
- ① ... years have passed since ~
  - ② It is (/ has been) ... years since ~
  - ③ have + 過去分詞 + ~ for (/ these) ... years

### 【解答例】

1-2

- ① Ten years have passed since my father quit smoking (/ gave up smoking).
- ② It is two years since I came up to Tokyo.
- ③ I have been a station worker (/ employee) in Osaka for five years.

**【Challenge B】** 次の日本語を [ ]内の英語を並べかえて英語で表現して下さい。

1-4

- 1) 本学が創立されてから90年になります。(Ninety years を文頭にして)  
[founded, university, passed, our, have, ninety years, since, was].  
\_\_\_\_\_
- 2) 初めて彼が海外渡航をして30年が経ちます。(It を主語にして)  
[overseas, it, his, first, been, he, trip, made, has, since, 30 years].  
\_\_\_\_\_
- 3) リサは別府に住んで15年になります。(Lisa で始めて)  
[living, has, Beppu, in, 15 years, been, for, Lisa].  
\_\_\_\_\_

**【Applied Questions】** 以下の和文を英語で表現してください。

- 1) 彼はこの商売を始めてもう36年になります。(年数を主語にして)  
\_\_\_\_\_
- 2) 戦争が終わって優に70年以上になります。(It を主語にして)  
\_\_\_\_\_
- 3) 私とフランクはかれこれ二十年の釣り仲間 (fishing friend) なのです。(I で始めて)  
\_\_\_\_\_

## 主語選択編

# 2. ～とは驚きです（驚きます）

【問い】 右頁の公式を活用して、次の日本語を英語で表現してください。

- ① 立派な英語をお話しになるので驚いています。(I am で始めて)
- ② マヤ文字(Mayan writing system)が解読され(be deciphered)たのは驚きです。(It is で始めて)
- ③ 驚いたことに、一発で(at one go) 運転免許試験に合格した。(To で始めて)

### 【解説】

公式 ① は、例文に示した解答例のほかに、公式 ② It is surprising that you speak English very well. とか公式 ③ To my surprise, you are such a good speaker of English. と表現できます。

公式 ① では「驚く人」が主語になり、that 以下で驚いた事実が述べられます。that の前には、to find, know, hear, read, discover など原因・理由を示す文句を補って考えるとよいでしょう。この文句は省略されることもよくあります。

英語では感情は原因があって生まれるので公式 ① be surprised のように、通常、受動態で表現されます。「驚きの強度」は、be surprised < be astonished < be amazed < be astounded の順に強くなります。が、公式 ② surprising は、「(人) 驚かせる」という意味で、感情を生み出す原因を能動的に表現した点が他とは違います。

### 【Challenge A】 ( ) 内に英語 1 語を入れてください。

1-6

- 1) 美しさを保つためにみんなコーヒー洗腸をする、とハリウッドのパーティで聞いて、彼は驚いている。  
At a Hollywood party, he is ( ) to hear that people take coffee enemas to stay beautiful.
- 2) D・H・ローレンスが自分の批評書にヘンリー・ジェイムズを取り上げなかったことは驚きです。  
It is ( ) that D. H. Lawrence did not include Henry James in his critical book.
- 3) 驚いたことに、友人の幾人かも腰痛に苦しんでいることが分かりました。  
( ) my surprise, I discovered that several friends also suffered from lower-back pain.

- 公式→ ① I am (/was) surprised [to find/hear/read] that ~  
② It is surprising that ~  
③ To one's surprise, ~

### 【解答例】

1-5

- ① I am surprised to find that you speak English very well.
- ② It is surprising that the Mayan writing system was deciphered.
- ③ To my surprise, I passed the driving test at one go.

### 【Challenge B】 次の日本語を [ ] 内の英語を並べかえて英語で表現して下さい。

1-7

- 1) 尾瀬のまっただ中に一泊したら、蛍が大自然の中でまっ暗な夜にとっても明るく光るのできっと驚きますよ。  
If you stay overnight in the middle of Oze, [shine, bright, in, how, pitch, find, to, be, will, fireflies, the, surprised, you, dark] in Mother Nature.  
\_\_\_\_\_
- 2) もっと多くの家庭菜園でジャガイモが育てられていないのは驚きです。  
[potatoes, more, it, do, is, not, that, grow, surprising, gardeners, home].  
\_\_\_\_\_
- 3) 甚だ驚いたことに、友人は私のアフリカ行きの資金づくりに必要な手配を全部やってのけました。  
[friend, my, the, great, to, arrangements, all, necessary, surprise, my, made] with a foundation for me to go to Africa.  
\_\_\_\_\_

### 【Applied Questions】 以下の和文を英語で表現してください。

- 1) 町の大変な変わりように私はずっと驚きっ放しでした。(continually を使って)  
\_\_\_\_\_
- 2) 彼が昨年の師走に亡くなったと聞いて私は驚いている。  
\_\_\_\_\_
- 3) 驚いたことに、私の一学期 (first-semester) の成績 (grades) はオール優だった。(astonishment を使って)  
\_\_\_\_\_